

科目区分・分類	専門・実習	対象学科名・学年	環境都市5年	科目コード	59501590
科目名	卒業研究 Graduation Research				
担当教員	環境都市工学科全教員				
単位数(時間数)	必修 通年 8単位 (240時間)	学習・教育目標との対応	(E-1)(E-2)(F-1)(G-1)		
授業の目的と概要	建設に関連するテーマについて研究を行い、基礎理論・応用理論を用いた実験、調査、解析、分析等を通じて研究遂行の手法と結果に対する考察の方法を体得する。研究成果を論文として提出し、卒業研究発表会での発表を通じて、研究成果のまとめ方とプレゼンテーションの方法を体得する。				
先修科目					
後修科目					
備考	4学年末にクラス担任が各教員の研究内容を学生に紹介し、配属希望調査を行う。年度当初に設定したテーマに基づいて研究遂行計画を立て、指導教員の指導を受けながらも自主的かつ積極的に取り組むことが重要である。				
	授業項目	時間	内容		
1	卒業研究ガイダンス	6	卒業研究の概要を理解し、配属された研究室における各個人の役割、年間の日程を把握できる。		
2	卒業研究テーマの検討と計画書提出	18	課された研究の概要を理解し、説明できる。		
3	研究の遂行	150	研究に関連する情報を収集し理解したうえで、研究の進行状況を把握し遂行することができる。		
4	中間発表会	10	研究の概要(研究手法、成果など)をプレゼンテーションツールを用いて発表することができ、質疑応答ができる。		
5	卒業研究論文の執筆	16	研究手法、研究成果を論文として執筆することができる。		
6	卒業研究発表会の準備と発表	20	研究の概要(研究手法、成果など)をプレゼンテーションツールを用いて発表することができ、質疑応答ができる。		
7	卒業研究論文の執筆・修正・提出	20	卒業研究論文を執筆し、指導教員の指導にしたがい修正したうえで、提出できる。		
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	卒業論文において、研究に関連する専門分野の情報を収集し、内容を理解し説明することにより(E-1)の達成とする。卒業論文において専門分野の知識、理論を活用し、課題の解決方法を提案することにより(E-2)の達成とする。図表を用いて研究成果を効果的にプレゼンテーションすることができ、質疑応答ができることで(F-1)の達成とする。卒業論文において、研究を遂行するうえで必要な知識、理論を自主的に収集し、理解し、修得することができることにより(G-1)の達成とする。				
成績評価	卒業論文において、1)研究に関連する分野情報収集と理解度により(E-1)を評価する(30%)。2)専門分野の知識、理論を活用し、課題の解決方法を提案することにより(E-2)を評価する(10%)。中間報告書と卒業論文において、研究を遂行するうえで必要な知識、理論を自主的に収集し、理解し、修得することにより(G-1)を評価する(30%)。卒業研究の報告時およびプレゼンテーションにおいて、図表を用いて研究成果を効果的に表現でき、質疑応答ができることで(F-1)を評価する(30%)。本科目の成績は、以上の合計100点満点により評価し、(E-1)、(E-2)、(F-1)、(G-1)の全て学習・教育目標に対して6割以上の評価を得たものを卒業研究の合格者とする。なお、いずれか1つの学習・教育目標でも6割未満の評価となったものに対しては、卒業研究の成績を59点以下とする。				
教材	研究に関連する分野の論文、著書、ウェブ等。				
オフィスアワー	原則として、月～金、16:00～17:00、環境都市工学科、担当教員室にて対応。				